

研究テーマ | D. T. M (デスク・トップ・ミュージック)

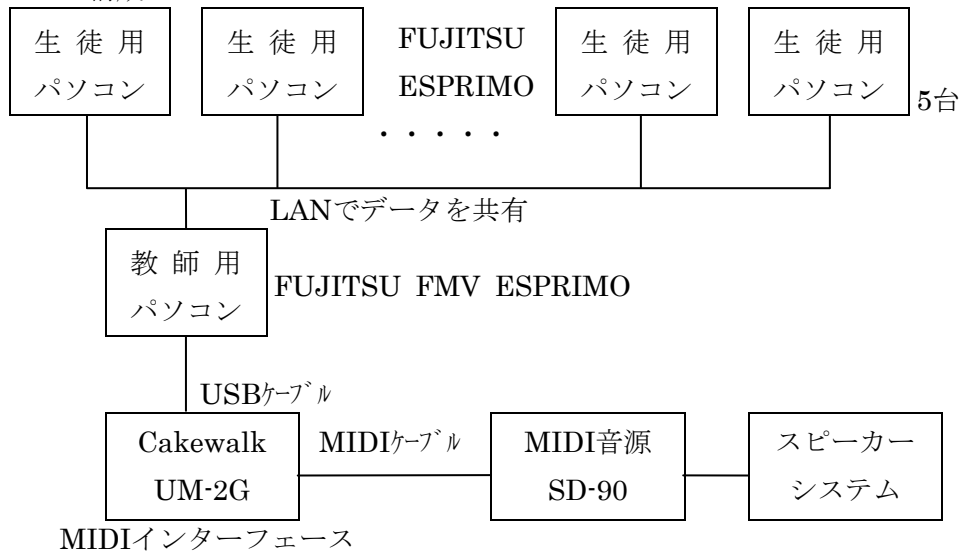
1. 研究の動機

D T Mとは、Desk Top Music(デスク・トップ・ミュージック)のことで、直訳すると机上での音楽演奏。つまり、本物の楽器を使わずに機械で音を作り出して演奏させます。カラオケのほとんどはこうして作られているので研究の課題としました。

2. 研究内容

日本発祥で世界共通のMIDI(ミディ)(Musical Instrument Digital Interface)データをコンピュータで作成して、MIDI音源により音を出力します。

○システム構成



○使用ソフトウェア

Singer Song Writer Lite 6.0

○実施方法

Singer Song Writer Lite 6.0 を使用するためにサンプル曲を題材に具体的な入力操作方法を練習しました。

Step 1

曲づくり前の設定から、メロディの入力(音符の張り付けや、数値での入力方法の理解)、コードの入力、伴奏の作成(アレンジデータの張り付け)をとおして、サンプル曲「ひとりゆらり」を作成する。

Step 2

演奏に抑揚(音の強弱)をつける。

Step 3

オーディオデータの入力。

3. 成果

○合同作品

有名な楽曲の吹奏楽譜を購入し、各パートごとのアレンジデータを、16トラック分入力、合成して演奏させ、兵工祭で発表しました。

今年度の合同作品

ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌

「恋」 星野 源 作曲,佐藤 丈治 編曲

各パートの詳細は、次のページを参照してください。

○個人作品(課題曲)

各自が好きな楽譜を持ち寄り、自分でアレンジして曲を完成させ、兵工祭で発表しました。個人作品の詳細は、最後のページを参照してください。

4. 生徒感想

最初は、音符のことが全然分からなくて大変だったけど、一つずつ納得しながらスムーズにできました。

人数が少なかったけど、3人で1つの合同作品を仕上げたのでとても達成感がありました。

DTMを始めた当初、スラーの値設定を100%にしておくことを何回も忘れることがあったけど、最終的にはミスをなくすことができて良かったです。

合同作品の「恋」を分担して作り、最後に合わせたときは、うまく出来ていて良かったと思いました。

今回初めてDTMに触れ、自分だけでは難かしく解決するのが困難だった場面が多々ありましたが、こうして作り終えることが出来て本当に良かったと思いました。

少人数ながら、とても充実した課題研究になりました。
ので、ぜひ、挑戦してみてください。

平成29年度 合同作品

ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌
恋

星野 源 作曲,佐藤 丈治 編曲

H29.05.08~H29.11.06

Tr	Part	PCcc	Pan	Key
1	Piano(option)	01-0	4	0
2	Flute	74-0	32	0
3	Percussion(Glockenspiel & Xylophone)	1014	8	0
4	Piano2(option)	01-0	4	0
5	1st・2nd Clarinet in B ^b	72-0	40	-2
6	Bass Clarinet in B ^b	72-8	38	-2
7	Alto Saxophone in E ^b	66-0	80	+3
8	Tenor Saxophone in B ^b	67-0	96	-2
9	Baritone Saxophone in E ^b	68-0	112	+3
10	Drums(Cym.,S.D.,Ride,F.Tom,Cr.Cym,Tom)	Dset	64	0
11	1st・2nd Trumpet in B ^b	57-0	48	-2
12	Horn in F	61-0	72	-7
13	1st・2nd Trombone	58-0	56	0
14	Tuba	59-0	120	0
15	Euphonium	59-0	116	0
16	Piano3(option)	01-0	4	0

使用楽譜

株式会社ミュージックエイト

シリーズ QQ 少人数吹奏楽

QQ426 「恋」 星野源 ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌

出版日 2017/01/04

販売価格 3,456 円(税込)

平成29年度 個人作品

「曲名」アーティスト名
「声をきかせて」BIGBANG
「色彩」坂本真綾
「Catch the Moment」田淵智也